

単位数	2単位	学年	3学年
学科・学年・コース・組		3学期制	普通科 3年2～7組
使用教科書		Art and You (日本文教)	

## 平成31年度 シラバス 探求美術

### 探求美術

#### 1. ねらい・目標

美術の創造的な諸活動を通して、美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情と美術文化を尊重する態度を育てるとともに、感性と美意識を磨き、個性豊かな美術の能力を高める。

#### 2. 授業の進め方や学習方法

毎單元ごとに、目標やねらい、取り組み方法等の説明をする。与えられた課題を、自己の表現で試行錯誤しながら、計画的に取り組んでいく。作品発表の場を設け、他者の作品理解やコミュニケーションを図る。また、わからないことや悩んでいること等は机間巡視で、質問しやすい環境を作り、問題解決のためのアドバイスをする。提出期限には全員が仕上げられるよう指導していく。

#### 3. 副教材・参考書

1. 副教材           なし
2. 参考書           なし

#### 4. 評価

(下記の4つの観点から評価した各学期の成績を統合し、年間の学習成績とする。)

##### ○関心・意欲・態度

美術表現・鑑賞に関心を持っているか。

学習意欲があり、主体的に制作に取り組む態度を持っているか。

##### ○表現の工夫

表現のために材料の選択や技法の用い方を工夫しているか。

自然や物事の見方、またテーマの把握に対して芸術的感受性を働かせているか。

##### ○表現の技能

作品を造りだすために必要な材料の扱い方や、表現方法を身に付けているか。

##### ○鑑賞の能力

美術作品を感受し、理解しようとしているか。

#### 5. その他

美術の授業は、作家の育成を目的とするものではありません。美術の制作や鑑賞の活動を通して、人生を豊かにしていくためのものの見方や捉え方、自己や他者を柔軟に理解していくための価値観の育成などを目的としています。

美術の授業では、【素材の特性を観察し、使い方の工夫や配慮をすること】【自分の発想や考えを具現化していくこと】【粘り強く作品に向き合い制作すること】【自分の感性、他者の感性、多様な価値観を知り、理解していくこと】など、社会に出て、自己実現していくための大切な素地となる体験が学びとなります。

好き・嫌い、得意・不得意などあると思いますが、今しかない思春期の感性で、情操を豊かにしていった欲しいと願っています。

## 6. 授業計画

学期	月	時	単 元	学 習 内 容	留 意 点 等
1 学 期	4	2	●オリエンテーション ●鉛筆デッサンの基礎	・美術の学習について。 ・鉛筆の持ち方による使い分けを確認し、5つのトーンを描く。	・美術の授業の約束事を確認する。 ・寝かせる・立てる持つ位置による違いを意識させる。
		8	●デザインの美しさと遊び心 (表札デザイン)	・使う用途や場面を想定し、文字とフレームを構成し、デザインする。	・条件を活かし、美しい構成と遊び心を意識してデザインさせる。
	5				
	6	8	●学園祭ポスター作成 (共同制作)	・トーンと配色の構成に重点を置き、ポスターを描く。	・同一トーンとアクセントの構成という条件をつける。
	7	6	●玉作りによる器（陶芸）	・粘土の構造を知り、手びねりで陶芸作品を制作する。	・土の特性を理解させ、使うことを想定した作品を意識させる。
2 学 期	9	2	●心を包む・心を贈る（デザイン）	・箸包みや婚礼祝い包みなど、折形について制作し、学ぶ。	・デザインの機能と美しさについて考えさせる。
		2	●作家探求（土門拳）	・土門の作品や言葉から、1枚の写真がもつ表現力について理解する。	・作品と作家の言葉を照らしあわせながら鑑賞させる。
	10 11 12	12	●私へのまなざし（絵画・デザイン）	・色彩構成による自画像を通して、自己の内面を見つめ、配色などを工夫して表現する。	・色相やトーンによるイメージも問いながら制作させる。
		12	●紐づくりによる器（陶芸）	・手びねりで陶芸作品を制作する。	・土の特性を理解させ、使うことを想定した作品を意識させる。
3 学 期	1	6	●線の美、墨の美、色の美（絵画）	・模写をしながら芸術作品について学び、鑑賞する。	・模倣を通して作者の表現を深く追求する。
		2	●芸術学習発表会	・今年度制作した作品を展示し、鑑賞しあう。	・展示を通して客観的に見直すことにより、自己の活動を振り返らせる。